



すずかぜ

都立花畑学園
第1号
R5/4/6 発行



花畑学園の学校だより

丁寧な積み重ねを

校長 堀江 浩子

今年度、児童・生徒数410名、学校スタッフ224名でスタートします。開校3年目が終え、本格的な異動も始まり、43名の転入者（新規採用者含む）を迎えました。その中には、特別支援教育の理解及び啓発のために1年間の人事交流でいらした方もいます。

学校スタッフには、都内屈指の大規模校でも、子供一人一人に寄り添うこと、子供達の話が管理職まで速やかに届くこと、そして、小学生・中学生・高校生として学校生活が謳歌できる「ときめく」学校にしようと伝えました。以下の詩は、私が管理職になった時から新年度に必ず便りに掲載し、気持ちを新たにします。

さて、5月8日以降は、新型コロナウイルスが季節性インフルエンザと同様の5類となります。8日迄は、学校の教育活動は「条件付きの歌唱」以外は変わりません。陽性の報告及び対応も同様です。学校スタッフの定期的な抗原検査も6月末まで実施予定です。（詳細は花畑スタイルで御確認下さい）

なお教育活動においては、昨年度の教育活動（行事等含む）を確実に定着させ、少しずつ内容等を拡大させていきます。

今後とも、本校の教育活動に対する御理解及び御支援を

『子どもはみんな、違うんだ』

覚えておこう

子どもは、成長の設計図をもっている
子どもは、その子の時間で育つ
子どもは、その子の歩幅で学ぶ
子どもは、その子の頭で考える

子どもは、その子の速さで伸びる
子どもは、その子の図案で実る
子どもは、その子の資質で生きる
子どもは、その子自身の人生の約束を果たす

子どもは、みんな、違うんだ

子どもを励まそう
人との違いを生かすように
よい実を結ぶように
この世の違いを認められるように
命を敬うように
確かな未来をつかむように

自分を大事にするように
全力でぶつかるように
愛の心を感じるように

忘れないでほしい

この子は、この世にたった一人しかいないのだ
子どもは違う 一人ひとり、みんな違う
そんな子どもがいるから
この世にすばらしい違いが生まれる

ドロシー・ロー・ノルトさんの
「子どもが育つ魔法の言葉 for
the Heart」から